

## 学校経営概要

### 三浦市で育てたい子ども像

#### ○心身ともに健康で調和のとれた人間性豊かな子ども

現在、そして将来にわたって、「人として自らを信じ、向上心をもって生きていってほしい」という願いから生まれた子ども像である。

#### ○郷土と日本の歴史、経済、社会、文化を理解し、郷土三浦を愛する子ども

自分が置かれている状況を肯定的にとらえ、「三浦の魅力を中心に温めて生きていってほしい」という願いから生まれた子ども像である。

#### ○世界の国々を理解し、すべての国民と仲よくできる国際性をもった子ども

自己中心的に物事をとらえるのではなく、「他も尊重しながら生きていってほしい」という願いから生まれた子ども像である。

### 育てたい子ども像

#### 自分で考え 創造する子

自主・自立:学力の向上

#### 心 豊かな子

協働・調和:人間関係の構築

#### たくましく やりとげる子

健康・安全:体力の増進

### 学校経営に関する基本方針

「子どもが、子どもの思いを、子どもの言葉で、子どもに向かって話す姿」をめざす

『小規模校であることを「強み」とした学校づくり』を基本とする

- ① 一人ひとりの子どもとしっかりと向き合い、授業の質を高めることを教育活動の根幹とする。  
・基礎・基本の定着を図るとともに、「主体的で対話的な深い学び」の実現に向けた授業を展開し、保護者・地域から信頼される学校づくりを進める。
- ② 全教職員の主体性や新たな視点を大切にし、創造的な教育が展開できる学校づくりを進める。  
・学年や教科の枠を越え、創意・工夫した教育活動を推進し、自ら学び、自ら考える力の育成を図り、確かな学力と『生きる力・自立心』を育む。
- ③ 家庭、地域との連携を図り、地域とともにある学校づくりを進める。  
・「あったかい町 三崎」のヒト・モノ・コトとの交流を積極的にに行い、教育活動の充実を図るとともに、地域から信頼され、必要とされる学校づくりを進める。
- ④ 基本的な生活習慣の定着とお互いの人権を尊重する学級づくりを進める。  
・「五常の松」の教え(仁義礼智信)を常に心に持ち、豊かな人間性と人権を尊重する学級風土をつくる。(いじめのない学級づくり)

### 本年度の重点

#### ①学級・学年の枠を越えた創造的な教育活動の展開

- ・小規模校であることを「強み」と捉え、既成の枠にとらわれない新たな視点やアイデアをもって「攻め」の教育活動を展開する。
- ・一人ひとりの子どもと向き合い、個に応じた授業を工夫し、基礎・基本を定着させることができる授業を推進する。
- ・お互いの個性を認め合いながら、良好な人間関係を育める学級づくりを進める。

#### ②地域とともにある学校づくりの推進

- ・歴史と伝統のある三崎小学校、地域に愛されている三崎小学校であることを常に意識し、その期待に応えられるよう「三崎らしさ」を大切にしつつ、家庭・地域と協働した学校づくりを進める。